

INDEX

- 胃のバリウム検査って?～必要な3つのご協力 1
- 医療の現場の素朴なギモン 紹介状なしで大きな病院には、かかれないの? 3
- 病院からのお知らせ 4

Webサイトでも
閲覧できます



胃のバリウム検査って?～必要な3つのご協力

胃のバリウム検査(上部消化管造影検査)とは、胃の内側の壁にバリウムを付着させ、胃の輪郭や病変部分を写しだし診断をします。

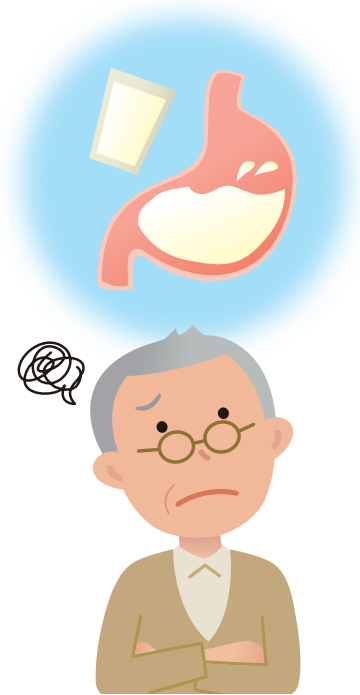
健康診断や人間ドックなどで行われますが、受ける大半の方が「この検査は苦手だ」といいます。

その理由としてよくあげられるのが、以下の3つをしなければならないことです。

- ・ バリウムと発泡剤を飲む
- ・ ゲップを我慢する
- ・ 検査台の上で身体をグルグルと回す

しかし、これらは正しい診断結果を得るためにとても大切なポイントです。だからこそ、ご協力をお願いしています。

そこで、今回はバリウム検査でこれらの「みつつのご協力」が必要な理由を説明いたします。



1. [バリウムと発泡剤を飲む]

胃は通常、空気を入れる前の風船のように萎んでいます。ですから、そのままバリウムを飲んでも、胃の内側の壁にまんべんなく貼り付きません。そこで発泡剤を飲んで胃を膨らませ、ひだを伸ばしてからバリウムを飲みます。こうすれば小さな病変も見つけやすくなります。発泡剤とバリウムを両方飲むのはこのためです。



2. [ゲップを我慢する]

ゲップをすると、せっかく膨らんだ胃が一気に縮んでしまいます。ですから、検査終了までゲップを我慢していただく必要があります。



3. [検査台の上で身体をグルグルと回す]

検査台の上で回ってもらうのは、胃の内部にバリウムをしっかりと付着させるためです。バリウムは胃液などですぐに流れ落ちてしまうので、撮影する度に回ってバリウムを塗り続ける必要があります。

さらに放射線技師が「素早く回ってください」とお願いする場合があります。それはバリウムが次の臓器である十二指腸に流れるのを阻止するためです。十二指腸にバリウムが流れると、その像がレントゲン上で胃と重なり、病変を隠してしまうことがあります。



上記みつつのご協力の他に、検査終了後にも大切なお願いがあります。

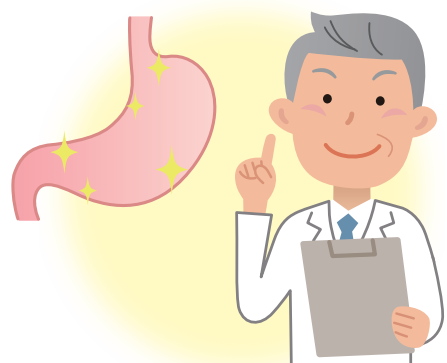
終了後 [水分をたくさん取る]

バリウムは体内に吸収されません。便と一緒に体外に排泄させるため下剤を飲みますが、水分が少ないとバリウムはお腹の中で固まり、便秘になってしまいます。そのため、できるだけ水分を多く取る必要があります。



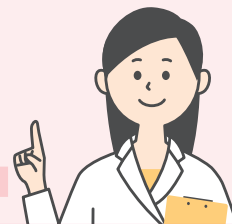
バリウム検査はいろいろとお願いが多いのですが、食道、胃、十二指腸の病変をチェックするため、特に胃がんの早期発見には有用な検査です。

胃がんは日本では発症リスクが高いと言われています。特に症状が無くても、年に一度だけ頑張って受診して、早期発見・早期治療に繋がしましょう。





医療の現場の素朴なギモン ④



紹介状なしで大きな病院には、かかれないの？

体に不安を感じて、医療機関を受診しようと思ったとき、「大きな病院に行きたいな…」と思う方は少なくありません。ですが、大学病院や公立病院などの大きな病院にかかるには、紹介状（診療情報提供書）を持っていくのが一般的です。目的の病院が「完全予約制」ということもあります。実は、紹介状がないと別の費用がかかるため、患者さんの負担が増すのです。

大きな病院に「紹介状（診療情報提供書）」なしで受診すると、「保険外併用療養費」（または「選定療養費）」という費用もかかります。

私たちの周りには様々な医療機関があります。規模は大中小と分かれ、最新の医療設備を備え最先端医療を行う、大学病院や国公立病院。地域の中核として救急や地域医療を担う一般病院。地域に密着し、かかりつけ医の機能を担うクリニック（診療所）など。その規模によって医療機関は役割が決まられています。軽いけがや風邪などの軽症の場合はクリニック（診療所）、救急や検査・手術・入院等が必要な場合は中規模の一般病院へ、さらに専門的な高度医療が必要な重症の場合は、大学病院や国公立病院へ、というようにです。

しかしながら、軽い病気やけがであっても、大きな病院を希望する方は少なくありません。これにより、大きな病院に患者さんが集中し待ち時間が長くなったり、予約がなかなか取れないなど、患者さんの負担が大きくなります。また医療機関側も、救急診療や重症患者さんへの対応が滞ったりと、本来果たすべき役割に支障をきたすこととなります。

そこで、国はこの役割分担を推進するために、医療保険制度改革法（2015年5月成立）により、紹介状（診療情報提供書）なしで、大きな病院（200床以上）を受診する患者さんから「保険外併用療養費」として一定の料金を徴収することを、医療機関側に義務づけました。

紹介状なしで受診する場合にかかる保険外併用療養費（または「選定療養費」）

- 初診の場合…5,000円以上（歯科は3,000円以上）
 - 再診の場合…2,500円以上（歯科は1,500円以上）
- この金額以上で、それぞれの病院が決めた額
（※当院は、初診時のみ1,100円（税込）です）

体の調子が悪いな？と感じたら、まずは地域のクリニック（診療所）を受診しましょう。できれば「かかりつけ医」を決めておくといいでしょう。かかりつけであれば、ご本人以上に体の変化に気づいてくれます。その上で、クリニック（診療所）では検査・治療ができない症状と判断された場合には、紹介状をもらって大きな病院を受診してください。そして症状が落ち着いたら、また地域のかかりつけ医に戻しましょう。

医療機関の役割分担は、患者さんと医療機関双方の負担を減らします。費用がおしえてくれる「かかりつけ医」の大切さ。お財布も守ってくれそうです。

面会禁止のお願い

「新型コロナウイルス」感染流行を受け、**全面的に面会を禁止**させていただきます。
皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

- ◆入院患者さんのご家族も対象となります
- ◆病院からの依頼（病状説明・手術・入退院など）があった方のみ、面会が可能となります
- 患者さんに着替え等のお届け物がある方は、下記の時間のみ、西南館総合受付窓口にてお預かりいたします
〈月～金（祝・祭日を除く）15:00～17:00〉

感染予防の為、貴重品及び、寝具・布類は
お預かり出来ないものがあります。ご了承ください

新型コロナウイルス感染症について 受診・相談希望の方へ

以下のいずれかの事項に該当する方は、下記連絡先へ電話で相談し指示を受けていただきますようお願いいたします。

- ☆息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ☆重症化しやすい方^(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

(※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

- ☆上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

厚生労働省新型コロナウイルス対策ホームページ引用

千葉市帰国者・接触者相談センター
043-238-9966
(AM9時～PM5時まで)
土・日・祝日含む

千葉県相談窓口
0570-200-613(24時間)
土・日・祝日含む

厚生労働省相談窓口
0120-565653
(フリーダイヤル)
(AM9時～PM9時)

【健康管理センターからのお知らせ】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため ご協力のお願い

当センターでは新型コロナウイルス感染対策として、受診者の皆様に以下のご協力をお願いしております。

- ご予約の人数制限
- 受診当日に以下のいずれかに該当する場合、日程のご変更
 - ・発熱（平熱より高い体温又は37.5℃以上）、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、嘔気、嘔吐、味覚障害、嗅覚障害などの症状のある方
 - ・受診日の2週間以内に発熱（平熱より高い体温又は37.5℃以上）があった方
 - ・明らかな誘因なく4、5日続く下痢等のある方
 - ・2週間以内に新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者（同居者・職場内の発熱含む）との接触歴がある方
 - ・2週間以内に外国への渡航歴がある方（およびそれらの方と家庭や職場内等で接触歴がある方）
 - ・新型コロナウイルスの患者に濃厚接触の可能性があり、待機期間内（自主待機も含む）の方
 - ・新型コロナウイルスに感染し、退院や療養生活を終了してから2週間未満の方

- マスクのご持参とご着用
- 受付時、すべての方へ体温測定の実施
- 適宜消毒のご協力（入館時・健診中・退館時）
入り口等に消毒液を用意しております。アルコールを使えない方へは界面活性剤配合のハンドソープ等による手洗いをお願いしております。

- 肺機能検査の中止
人間ドックの実施項目中の「肺機能検査」の実施は、フィルター付きマウスピースを使用し行います。しかしながら、大きな呼吸の繰り返しと勢よく息を出すことで測定を行うため、新型コロナウイルスのエアロゾル感染の可能性を完全に否定することはできません。当センターでは新型コロナウイルス感染対策に、細心の注意を払っておりますが、受診者様に安全に健康診断を受けていただくために、当面の間、肺機能検査を中止いたします。

何卒ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます
健康管理センター長

来院時のお願い

～手指消毒と検温にご協力ください～

西館及び東館入口自動ドア前に、カメラによる自動検温機と自動噴霧アルコール消毒機を設置いたしました。ご来院の際には検温と手指消毒のご協力をお願いいたします。

感染対策へご協力お願いいたします
みつわ台総合病院感染対策委員会

上記内容は、今後変更になることがございます。
適宜、HP・院内掲示にてお知らせいたしますが、ご不明の際はお問い合わせください。



基本理念

高い徳性と深い知性を培い
生命の尊厳に寄与する

基本方針

1. 医療を通じて地域社会に貢献します
2. 個人の尊厳を尊重した医療を実施します
3. 常に最先かつ最適な医療を提供します

受付時間	午前 8:30より12:00まで	
	形成外科(火曜)	8:30より11:00まで
	皮膚科(木曜)	
	脳神経外科(土曜)	
	耳鼻咽喉科(土曜)	8:30より11:30まで
	午後 13:30より16:30まで	
	糖尿外来(水曜・木曜)	13:30より14:30まで
	皮膚科(木曜)	13:30より16:00まで
	脳神経外科(月曜・水曜・木曜)	15:30より16:30まで
	※新患に限る	

千葉県若葉区若松町531-486
☎043-251-3030 (代)
ホームページアドレス
<http://www.mitsuwadaibyojin.or.jp>

2科以上
受診の場合は
受付終了
30分前
まで

スマートフォンの
方はこちらから

UD FONT みつわ台病院
ニュースでは、
UDフォントを
採用しています

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザ
インの文字を採用しています。

人間ドック健診施設
機能評価認定病院

日本医療機能評価
機構認定病院
認定第JC115号